

中古装置に新たな命を吹き込み、顧客満足度 100%プラスαをめざすアスカインデックス!!!

今回は2017年、四箇新町のテクノパークに進出。約2,300㎡の賃貸クリーンルームを設置し顧客の初期投資負担の軽減に貢献するなど、BtoB（企業間取引）において高品質な商品とサービスを提供したいとの思いを、創業以来一貫して実践している株式会社アスカインデックスを紹介します。

常務取締役でもあり、九州テクニカルセンター センター長の蒼沼 正夫さんにお話を伺いました。



会社の歩み

創業者である現社長（田中礼右）は、製造会社に勤めるサラリーマンでした。1995年、東京都港区に株式会社アスカインデックスを設立し、記録メディア製造材料の販売を開始しましたが、営業の過程で中古機械の購入、整備、販売を手掛けるようになり、今日ではこれが柱の一つになっています。

また半導体業界、液晶業界、医薬業界向けの取り扱い装置が大きく伸びてきている中で、クリーンルーム環境から切っては切れないニーズがあり、今ではクリーンルームの建設が二本目の柱となりました。



なお、弊社では、山梨県甲州市、都留市、福岡県大牟田市及び台湾の国内外に大規模の展示場を完備し、装置から事務機器まで4万点以上の商品の状況・品質をお客様がご確認出来る状態で展示しているのが特徴です。台湾には、2009年中古設備の海外需要に対応するために進出し、2017年には展示場の増床を実施致しました。さらに昨年よりヤフオク、や海外サイトでのE-BAYインターネット販売を開始しております。

クリーンルームビジネスの特徴

クリーンルームは専用建築物と内部設備・機器から構成されています。クリーンルームの廃棄時には数々の中古設備・機器が発生します。これら中古設備の性能を確認したうえで販売することは無論ですが、新規のクリーンルームを建設する場合、一部中古設備を利用することで建設費の大幅な削減が可能になります。企業にとって、新製品の研究や開発・試作に自前で高額なクリーンルームを建設することは資金的に大きな負担とリスクを抱えることとなります。そこで、



昨年大牟田市に建設したクリーンルームは「賃貸」にして、企業様の初期投資の軽減に貢献したいと考えたのです。

大牟田市に進出した経緯

九州は半導体アイランドと呼ばれておりクリーンルームの需要が見込めると考え、西日本地区の拠点となる場所を探していました。当社は熊本、鹿児島に主要な顧客を抱えており、当初熊本での建設を模索していました。しかし、土地の購入が難航している中、熊本地震が発生するなど進捗に支障が生じたとき大牟田に適切な物件があるとの情報を得、調査したところ九州自動車道南関ICから車で1分と交通の便もよく、大牟田市への進出を決定しました。

“プラスα”のこことは？

クリーンルームの施工だけではなく生産現場の気持ちがわかる装置に精通した専門スタッフ（技術屋）による現場との細かい調整、データ化されたクリーンルーム、中古装置等のすべて情報を駆使した素早い顧客対応など、幅広い分野の実績に基づいて顧客へ寄り添う仕事を実施するという事です。

今後の抱負

大牟田市に進出して、早2年になります。昨年フロア2500㎡を増床致しました。

一步一步確実なビジネス展開を迫行し、九州産業界にお役に立てる、なくてはならない企業として、成長していきます。



会社概要

(株)アスカインデックス
九州テクニカルセンター
住所：福岡県大牟田市
四箇新町 1-5
TEL：0944-55-5300

